

スモール・モンスタース・ジャパンの運用状況

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)

追加型投信/国内/株式

2017年3月14日

- 当ファンドは、運用開始から3年が経過しました。
- 当ファンドでは、中小型株や新興市場株のなかから、「持続的成長」と「再成長」の二つの観点で企業の利益成長ポテンシャルを評価し、銘柄を選別しています。

1. 当初設定から3年が経過

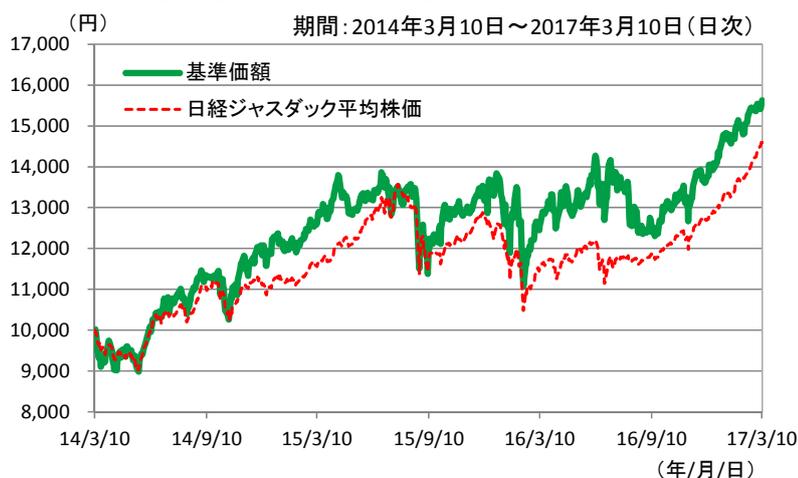
2014年3月10日に設定された当ファンドは、2017年3月10日で運用開始から3年が経過しました。

設定来の国内株式市場は、企業業績の拡大に対する期待や、日本銀行による金融緩和政策などを背景に2015年8月にかけて上昇基調となりました。しかし、米国の利上げ観測や中国の景気減速に対する懸念、原油価格の下落などを受けて国内株式市場は2016年6月にかけては調整局面となりました。その後は、米国長期金利の上昇を背景としたドル高の進行や、米トランプ新大統領が掲げる経済政策への期待などから、世界的な株式市場の上昇にあわせ、国内株式市場も騰勢を強めました。

2017年3月10日の当ファンドの基準価額は15,628円となり、設定来の上昇率は参考指数としている日経ジャスダック平均株価を上回りました。

【図表1】

【図表1】基準価額の推移



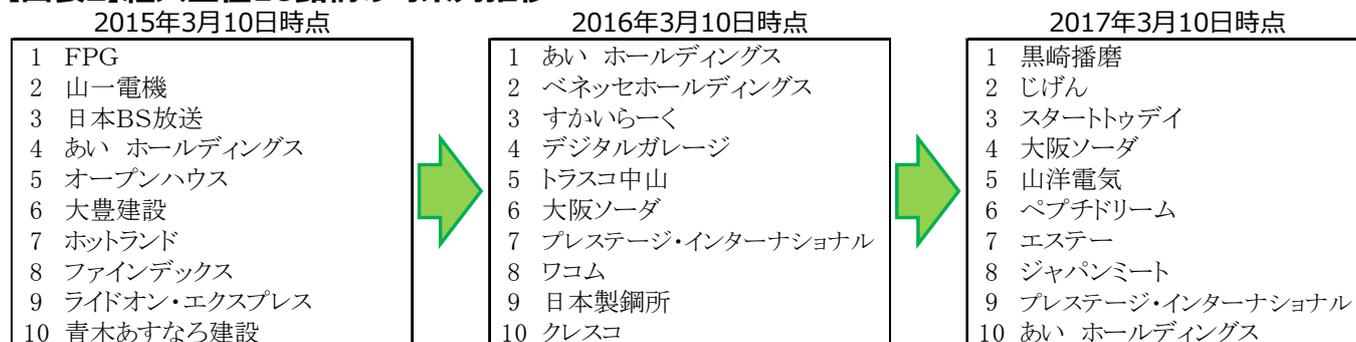
※ 上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
 ※ 日経ジャスダック平均株価は2014年3月10日を10,000円として指数化。
 ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。
 (出所) 日経ジャスダック平均株価はQUICKのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

2. 成長および再成長銘柄を選別

当ファンドでは、国内の中小型株や新興市場株のなかから、企業の利益成長ポテンシャルの高さに着目して銘柄を選別してきました。利益成長ポテンシャルについては、技術革新や特徴のあるビジネスモデル、産業構造の変化に伴う事業機会の拡大などを背景とした「持続的成長」に加え、事業の選択と集中など事業構造改革により、収益性の改善が見込まれるような「再成長」といった二つの観点からアプローチしました。

当ファンドの株式ポートフォリオの構築にあたっては、利益成長ポテンシャルの評価に加え、株価指標面の割安さや、国内株式市場における物色動向、市場流動性などを考慮して個別銘柄の組入比率を決定してきました。当ファンドにおける組入上位銘柄の時系列推移は【図表2】の通りです。

【図表2】組入上位10銘柄の時系列推移



※ 上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)
追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日：2017年3月10日)

ファンドの状況

基準価額	15,628円
純資産総額	182,356,140円
株式組入比率	95.7%
組入銘柄数	32銘柄

※基準価額は1万口当たりです。

市場別・規模別等構成比

市場・規模別	構成比
東証1部中型株	7.4 %
東証1部小型株	71.0 %
東証2部	3.4 %
JASDAQ	2.3 %
東証マザーズ	11.6 %

※ 市場別・規模別等構成比は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 市場別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	化学	13.5 %
2	サービス業	13.3 %
3	情報・通信業	11.9 %
4	電気機器	11.5 %
5	ガラス・土石製品	7.8 %
6	卸売業	7.5 %
7	小売業	7.4 %
8	建設業	5.7 %
9	医薬品	5.6 %
10	非鉄金属	3.3 %

※ 業種構成比は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	注目点など	構成比
1	黒崎播磨	ガラス・土石製品	インドの粗鋼生産拡大の恩恵を受けると判断。	5.6 %
2	じげん	情報・通信業	M&Aで取得した企業の収益性改善に期待。	4.1 %
3	スタートトゥデイ	小売業	リユース事業の立ち上げ等による業容拡大に期待。	4.0 %
4	大阪ソーダ	化学	付加価値の高い製品群の拡充による利益率の上昇に期待。	3.9 %
5	山洋電気	電気機器	生産現場での自動化投資拡大の恩恵を受けると判断。	3.8 %
6	ペプチドリーム	医薬品	大手製薬会社との契約拡大に期待。	3.5 %
7	エステー	化学	事業部制の導入による経営効率の改善に期待。	3.5 %
8	ジャパンミート	小売業	新たな加工物流センターの稼働に伴う生産性の改善に期待。	3.4 %
9	プレステージ・インターナショナル	サービス業	訪日外国人向けコールセンターサービスの拡大に期待。	3.4 %
10	あい ホールディングス	卸売業	防犯カメラの拡販やカード発行機会社の収益貢献に期待。	3.3 %

※ 組入銘柄の構成比は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン) ファンドの特色

- ◆ 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
- ◆ 株式の投資にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴のあるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、飛躍的な成長が期待される企業の株式を選別します。
- ◆ 株式の組入比率は、高位を保つことを基本とします。
- ◆ 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。



(作成：エクイティ運用部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)
追加型投信／国内／株式

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：ありません。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率0.918%（税抜0.85%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)